

言葉遊びって楽しいね♪

しりとり

りんご→ごりら→らっぱ・・・

さかさ言葉

「いちご」のさかさまは「ごちい」
「こねこ」のさかさまは「こねこ」



反対言葉

「暑い」の反対は「寒い」
「高い」⇔「?」「長い」⇔「?」

「か」のつく言葉集め

かめ、からす、かもめ、かかし、
かがみ・・・
もちろん他の言葉でもOK!

なぞなぞ・クイズ

身の回りのものをクイズに
してみましょう! 出題者を交代
しながらやってみるのも楽し
いですね。

平成18年1月編集・発行
平成21年1月改訂
平成24年9月改訂
令和 7年3月改訂
仙台市こども若者局
幼稚園・保育部 運営支援課

とっておきの子育ての話

保育者からの メッセージ



人は、言葉によって気持ちを伝
え合ったり、考えたりします。

こどもはどのようにして言葉を
学んでいくのか、そしてこどもの
豊かな言葉を育てるために、大人
はどのような関わりをもったらよ
いのでしょうか。



0歳の頃

- 「アーアー」「マンマン」などの「声」を出すようになります。



- あかちゃんはまだおしゃべりはしませんが、たくさん声を出しています。あかちゃんの声に大人が答えることはとても大切です。共感する気持ちが、あかちゃんに伝わって安心します。目と目を合わせてゆったりと応じてあげましょう。



3歳の頃

- 「なんで?」「どうして?」と聞くことが増え、いろいろな物事への興味が出てきます。
- 言葉の数も増え、自分の経験したことや、いろいろな感情や意思を言葉で伝えようとします。



- たくさんの知りたい、話したい気持ちを受けとめ相づちをうったり、最後まで話を聞いてあげましょう。大人が言葉を補いながら会話を楽しみ、“思いが伝わって嬉しい”という経験ができるといいですね。



1歳の頃

- 見つけたものや欲しいものなどを指さしたりします。
- 「ちょうだい」「だめよ」など簡単な大人の言うことが分かるようになり、「パパ」「ママ」など意味のある言葉が増えてきます。

- こどもが見ている視線の先を見て「車だね」と声をかけたり、気持ちを推測して「お茶飲みたい?」などと言葉にしていけるといいですね。
- 大人の話しかけや絵本などを通していろいろな言葉を聞く機会を作っていきましょう。



4歳の頃

- 「だって…だもん」などと自分の気持ちを主張したり、「ちょっとならいいよ」などと折り合いをつけようとするこも出てきます。
- 時には「ばか!」「あっちいけ～」など、乱暴な言葉を使うこともあります。



- 揺れ動く気持ちを「〇ちゃんは、そう思うのね」などと、受けとめながら話を聞く時間を持てるといいですね。
- 乱暴な言葉や汚い言葉を使ってみたくなる年頃で、悪気があるわけではありません。「言ってはいけません」だけではなく、場面に合う言葉を知らせていきましょう。使って欲しくない言葉には過剰に反応せず、時には聞き流すのもひとつの手です。

2歳の頃

- 大人に聞かれて指さして答えたり、「これは?」と物の名前などに興味を持ち始めます。
- 「ワンワンきた」のような二語文も出てきます。
- 「いや」「もっと」「じぶんで」など意思を伝えようとします。

- こどもからの発信を受けとめて、同じ言葉で返したり、「ワンワンきたね」「かわいいね」などとやりとりを楽しんでいけるといいですね。
- こどもが反抗するようにみえる言動は、順調に自我が育っている証拠です。「自分でしたかったんだね」などと気持ちを受けとめていきましょう。

5歳の頃

- 相手に分かるように、考えたことや自分の経験を話すようになります。
- 現実の話だけではなく願望や空想の話をするこもあります。想像したことを物語のように話したりします。
- 簡単な文字や数字にも興味を持ち始めます。

- こどもの話が空想だと思った時も、たくさん話ができる雰囲気作りを心がけ、一緒にその世界を楽しみましょう。“聞いてもらえた”経験が安心して話をしたり、さらにお話の世界を楽しむことにもつながります。
- 親子で一緒に絵本や身近なものに書いてある文字を読むことや、しりとりなど言葉遊びを楽しむのもいいですね。

